



東っ子供り

令和5年5月18日

第3号

大津町立大津東小学校
校長 太田黒 保宏

第1回学校運営協議会

5月2日に、学校運営協議会を実施しました。本協議会は、国の法律や町の規則に沿って組織し、委員の方は学校運営等について意見を述べるという重要な機関です。

そこで、地域等の有識者の方々の参加のもと、学校の教育目標等について説明しました。子どもたちや先生方の様子をお伝えしたことで、委員の皆さんには一定のご理解と評価をいただくことができました。

大切なのはこれからです。絵に描いた餅にならぬよう、“子どもファースト”で、学校、家庭、地域、そして行政が一体となって魅力ある東小を築いていきます。

なお、委員長は吉田道雄先生（熊本大学名誉教授）です。



吉田委員長挨拶

稚魚の放流

4月27日には、白川漁業協同組合のご指導のもと、3・4年生が白川にウナギとアユの稚魚の放流をしました。



稚魚の放流の目的などを伺った後、実際にウナギを掴む体験をしました。想像通りなかなか掴めません。つるつると滑るウナギとの格闘の後、次は稚魚の放流です。放流した稚魚が無事に川の中へ泳いでいく様子に、ほっと安堵したのも束の間、トンビが川に近づいてきました。トンビも生きていくのに必死です。

怪しい雲行きに、子どもたちも追い払おうと大きな声を出しました。しかし、自然の摂理とも言うべき出来事を目撃することとなりました。勢いよく川に突っ込んだトンビのくちばしには、子どもたちが放流したばかりのウナギの稚魚が捕らえられていたのです。

とても残念でしたが、生き物の命はこのようにして繋がれていることを思い知りました。子どもたちは、命の尊さなど、多くを学びました。

※この記事は、5月2日に地元紙朝刊に掲載されました。



大きく育て！

大津町教育の日

5月15日には、久々に“大津町教育の日”を実施しました。

子どもたちの普段の学習の様子を、広く一般の方に公開することを目的に、大津町では毎月14日（※来月は“いよ（14）”の日）に公開日となっています。

本日は、学校運営協議会や風の子教室でお世話になっている小西さんをはじめ、教育委員会や保護者の方々など、4名の方に参観いただきました。

なお、次回は6月14日（水）に実施します。7月迄は午前中のみの参観といたします。また、当日の受付は玄関（職員室横）のみとなり、アンケートにご協力いただきます。



思いや考えを発表

お弁当の日

5月11日は、今年初めての“お弁当の日”でした。大半の子どもたちは、保護者と一緒にお弁当を作ったようです。中には、全て自分で作った子どももいて、とても感心しました。食育は、子どもたちの健康な体を作る上でとても大切です。日頃から、自分の食べる食事やその食材などについて関心をもってほしいと思います。とても素晴らしい機会でした。

みんな笑顔で食べていました！



ゲストティーチャー招聘

とても楽しい授業でした！
GTには感謝しています！



本年度は、多くのゲストティーチャー（GT）の招聘を計画しています。GTの方々は、専門性に長け、子どもたちの教育にとって重要な方々ばかりです。担任と連携を取りながら、子どもたちの指導に当たっていただいたところです。その様子を一部をお知らせします。

【“走”の指導編】

5月12日に、3年生以上の児童が“走り方”についてご指導いただきました。（※学習領域は中学年：走の運動「かけっこ」、高学年：陸上運動「短距離走」です。）

ご指導いただいたのは、NPO法人クラブおおづの後藤さんです。本校では、学童スポーツクラブでご指導いただいています。スポーツの特性を大切にしながら、褒めながら自ら気付かせるような指導をなさり、子どもたちはめきめきと知識や技能を高め、自信を付けています。

「スポーツには勝負がつきものです。でも、相手をリスペクトすることが大事です。」

「走る姿勢で大切なことは、背中を伸ばし、肘を曲げてしっかりと腕を振り、目線はゴールです！」

今回も、たくさん褒められて子どもたちはめきめきと“走”の基本を身に付けました。新体力テスト前の26日にもご指導いただくことにしています。



動きながら気付く



楽しく競う

【“歌”の指導編】

5月17日に、ゲストティーチャー（GT）をお招きして、5・6年生の“歌”の指導をしていただきました。気持ちのよい歌声を出すための流れを、料理の手順に例えて分かりやすく教えていただきました。

ご指導いただいたのは、大津町教育支援センターの山本先生（元校長先生）です。先生は、長年中学校の音楽の指導をなさっており、我々教職員がたいへん勉強になりました。

そこでは、“歌で相手に気持ちのよさを伝える”ための3つのポイントを教わりました。

- ①本気になること
- ②どんな歌声にするかイメージすること
- ③喉の奥を開けること

実技を通して、自然と自分の歌声の気持ちよさを感じた様子でした。

「前からのどの奥を開けるように言われていたけど、どうすればよいか分かりませんでした。」

でも、“ゆで卵”をイメージした練習でよく分かりました。」

「表情までは考えて歌ってなかったけど、確かにそうだと実感できました。」

子どもたちの感想から分かるように、歌い方の基礎基本を教えていただきました。今回が、絶品グルメを作る“下準備編”でした。そして、次回は“味付け編”としてご指導いただく予定です。これから、子どもたちの生活を豊かにする歌声が少しずつ響くことを期待しています。



実技指導



感想発表

大津東小ホームページもご覧ください！

大津東小学校 検索

